

第3次

日野町人口ビジョン

令和7年4月
日 野 町

目 次

1	日野町の人口の現状分析・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（１）人口・世帯数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（２）平成１６年から現在までの人口増減・・・・・・・・	3
	（３）平成１６年から年度ごとの人口増減・・・・・・・・	4
	（４）年代別人口増減・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（５）自然増減・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	（６）社会増減・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	（７）人口移動の状況（県外及び県内）・・・・・・・・	9
	（８）人口動向のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・	10
2	日野町の将来人口の推計と分析・・・・・・・・・・	11
	（１）総人口・年齢区分別人口の推計【社会人口問題研究所推計】・・	11
	（２）合計特殊出生率による人口の推計【日野町推計１】・・・・・・・・	12
	（３）移住者を考慮した人口の推計【日野町推計２】・・・・・・・・	13
	（４）人口推計のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・	17

1 日野町の人口の現状分析

今後、講ずべき施策の検討材料とするため、鳥取県市町村課が調査した平成15年度から令和4年度の20年間の人口推移を把握し、自然増減（出生者数と死亡者数の差により生じる増減）の要因と社会増減（転入者数と転出者数の差により生じる増減）の要因とに分けて、それぞれがどのように影響してきたか等を分析する。

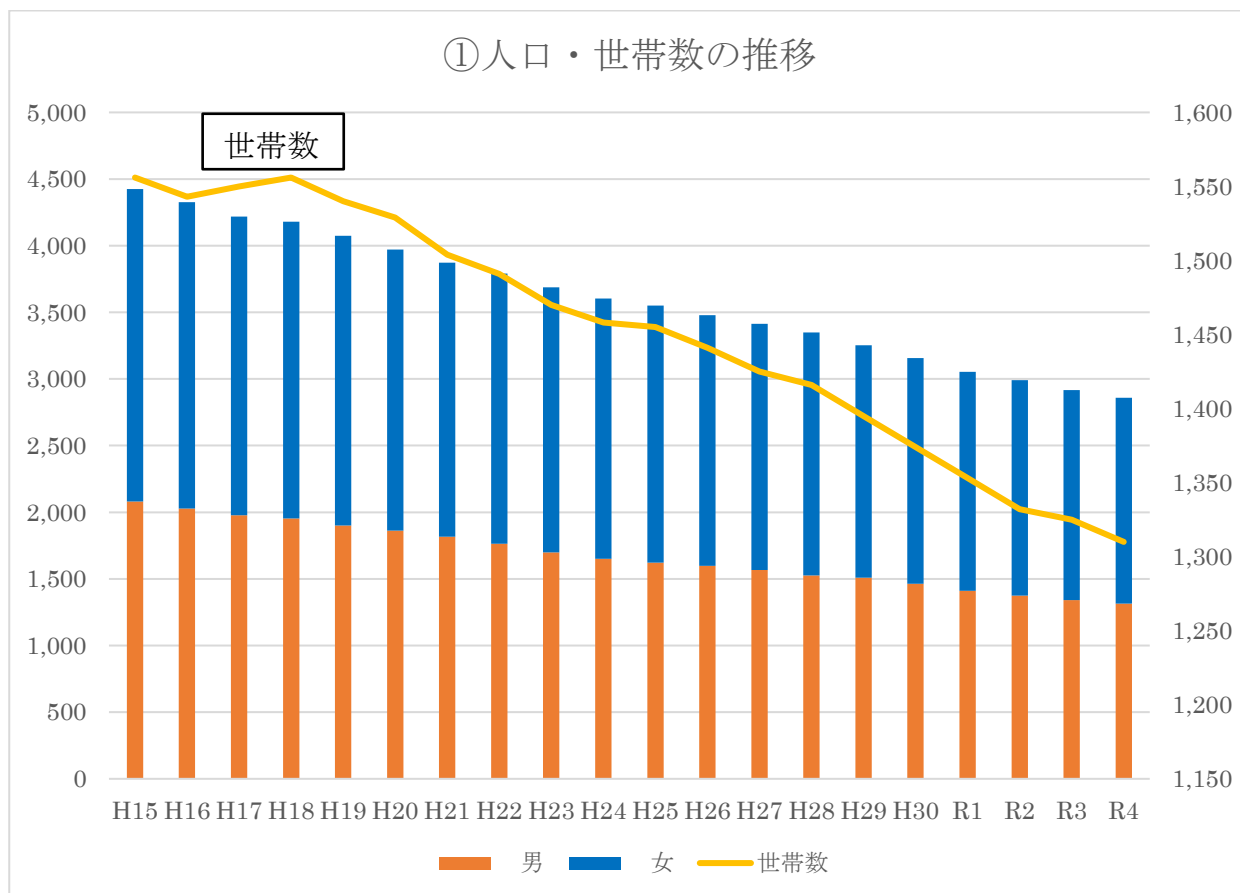
なお、当該調査は、平成15年度から平成24年度までは3月31日現在の数値、平成25年度から令和4年度までは1月1日現在の数値としている。

（1）人口・世帯数の推移

（表－1）平成15年度から令和4年度までの人口・世帯数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
人口	4,425	4,327	4,219	4,179	4,075	3,972	3,873	3,791	3,688	3,604
男	2,081	2,028	1,978	1,953	1,901	1,863	1,816	1,764	1,698	1,650
女	2,344	2,299	2,241	2,226	2,174	2,109	2,057	2,027	1,990	1,954
世帯数	1,556	1,543	1,550	1,556	1,540	1,529	1,504	1,491	1,470	1,458

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
人口	3,551	3,479	3,414	3,348	3,253	3,156	3,054	2,990	2,916	2,859
男	1,622	1,598	1,567	1,526	1,510	1,463	1,411	1,375	1,342	1,315
女	1,929	1,881	1,847	1,822	1,743	1,693	1,643	1,615	1,574	1,544
世帯数	1,455	1,441	1,425	1,416	1,395	1,374	1,353	1,332	1,325	1,310



《考察》

（表－１）は平成１５年度から令和４年度までの男女別人口及び世帯数の推移を表したものである。

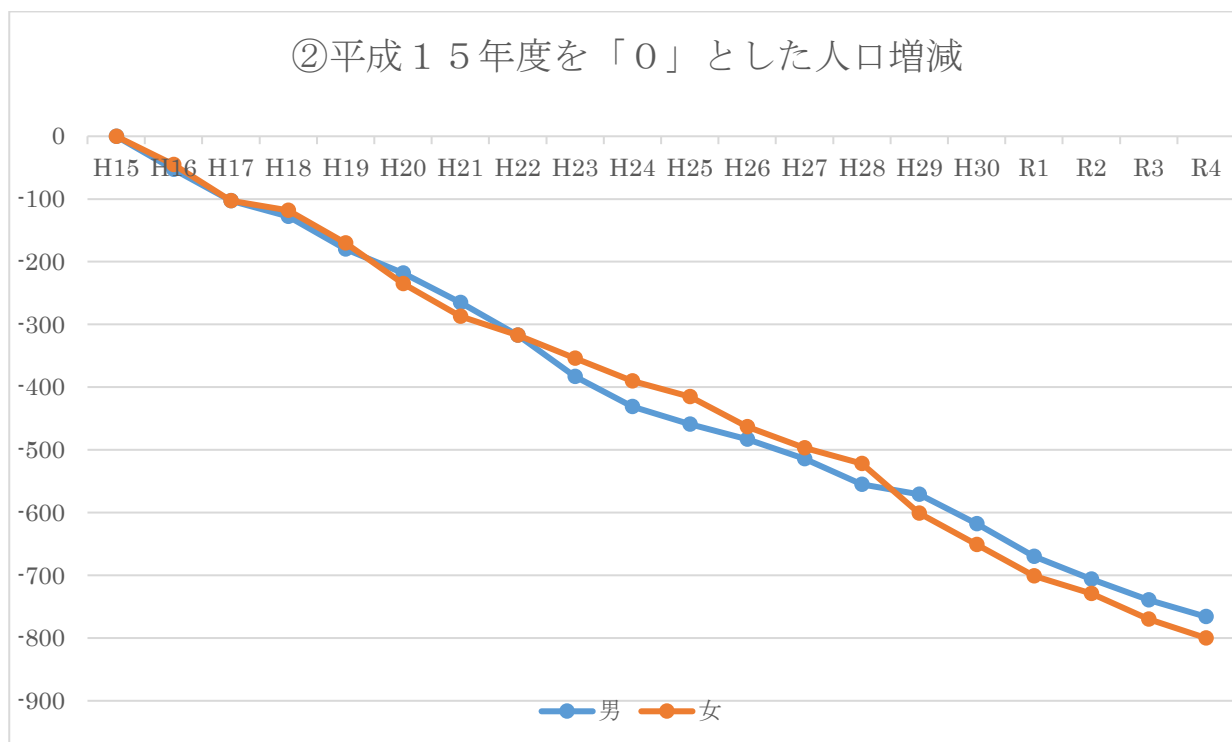
総人口は減少傾向にある。日野町の人口はこの２０年間で男性７６６人（３６．８％）、女性８００人（３４．１％）、合計１，５６６人（３５．４％）が減少している。

（２）平成１５年度から令和４年度までの人口増減

（表－２）平成１５年度を０とした場合の人口増減

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
全体	0	-98	-206	-246	-350	-453	-552	-634	-737	-821
男	0	-53	-103	-128	-180	-218	-265	-317	-383	-431
女	0	-45	-103	-118	-170	-235	-287	-317	-354	-390

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全体	-874	-946	-1011	-1077	-1172	-1269	-1371	-1435	-1509	-1566
男	-459	-483	-514	-555	-571	-618	-670	-706	-739	-766
女	-415	-463	-497	-522	-601	-651	-701	-729	-770	-800



《考察》

（表－２）は、平成１５年度の人口（男性２，０８１人、女性２，３４４人、合計４，４２５人）を「０」として、年度ごとの人口の増減を表したものである。

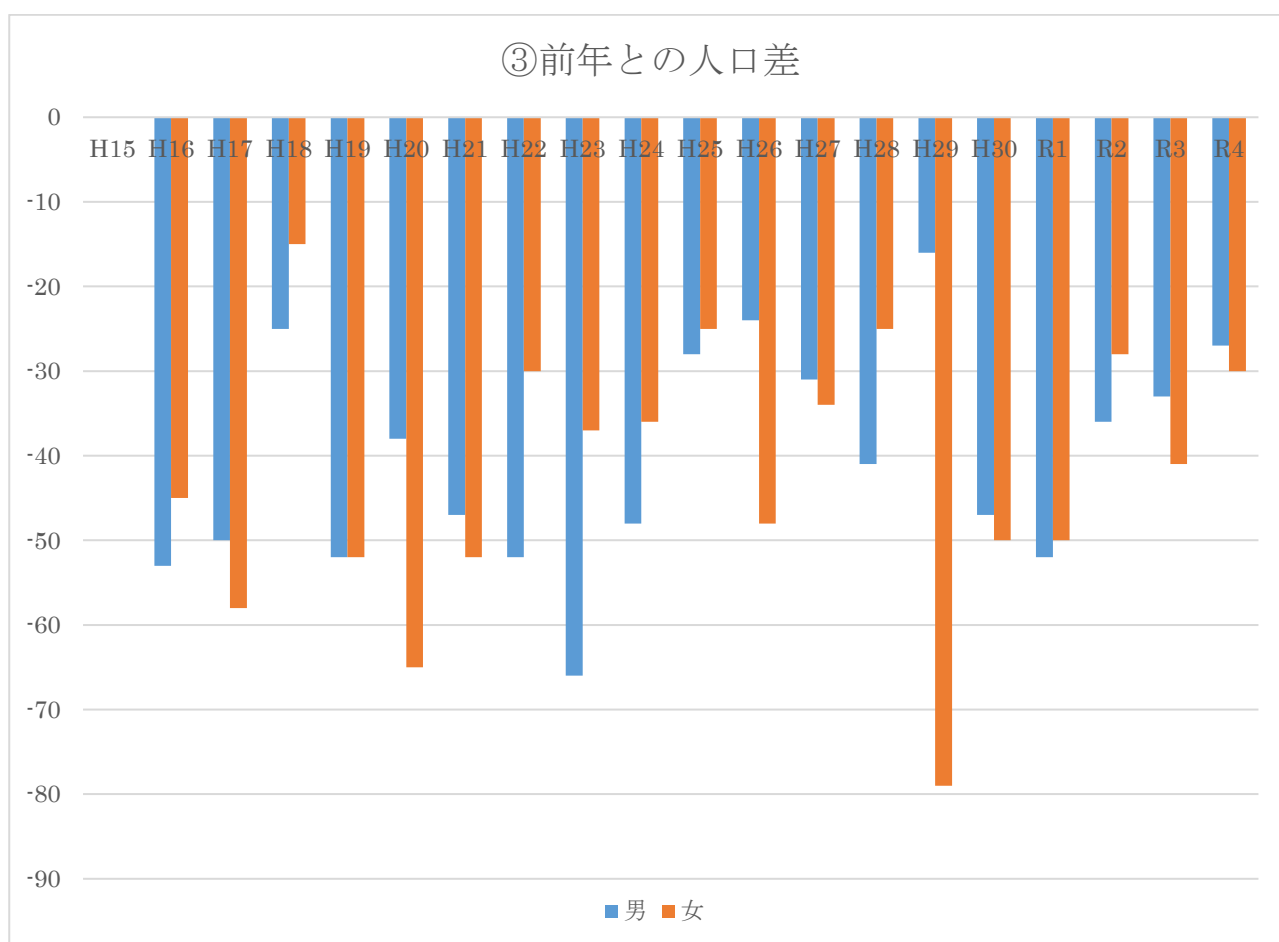
全体を通じて男女ともに大幅に減少しており、この２０年間で約３割減少している。

(3) 平成15年度から年度ごとの人口増減

(表-3) 平成15年度を起点とし前年度を0とした場合の人口増減

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
全体	0	-98	-108	-40	-104	-103	-99	-82	-103	-84
男	0	-53	-50	-25	-52	-38	-47	-52	-66	-48
女	0	-45	-58	-15	-52	-65	-52	-30	-37	-36

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全体	-53	-72	-65	-66	-95	-97	-102	-64	-74	-57
男	-28	-24	-31	-41	-16	-47	-52	-36	-33	-27
女	-25	-48	-34	-25	-79	-50	-50	-28	-41	-30



《考察》

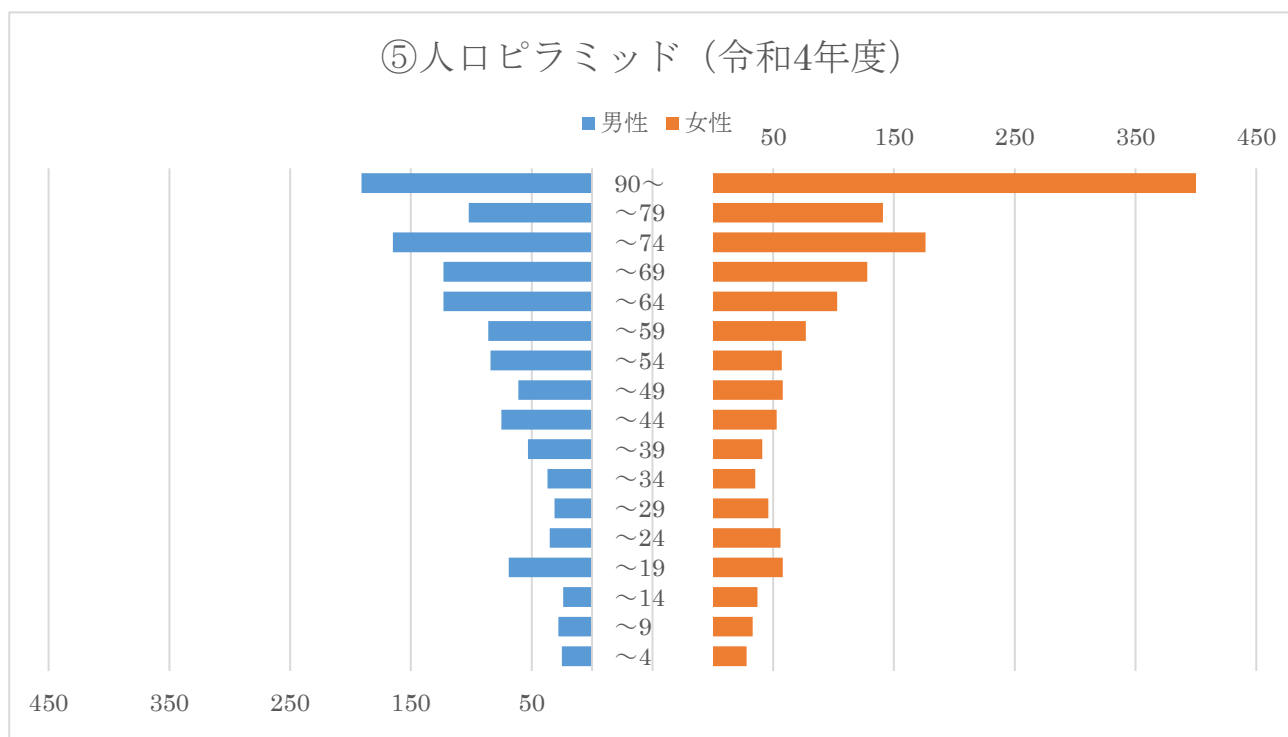
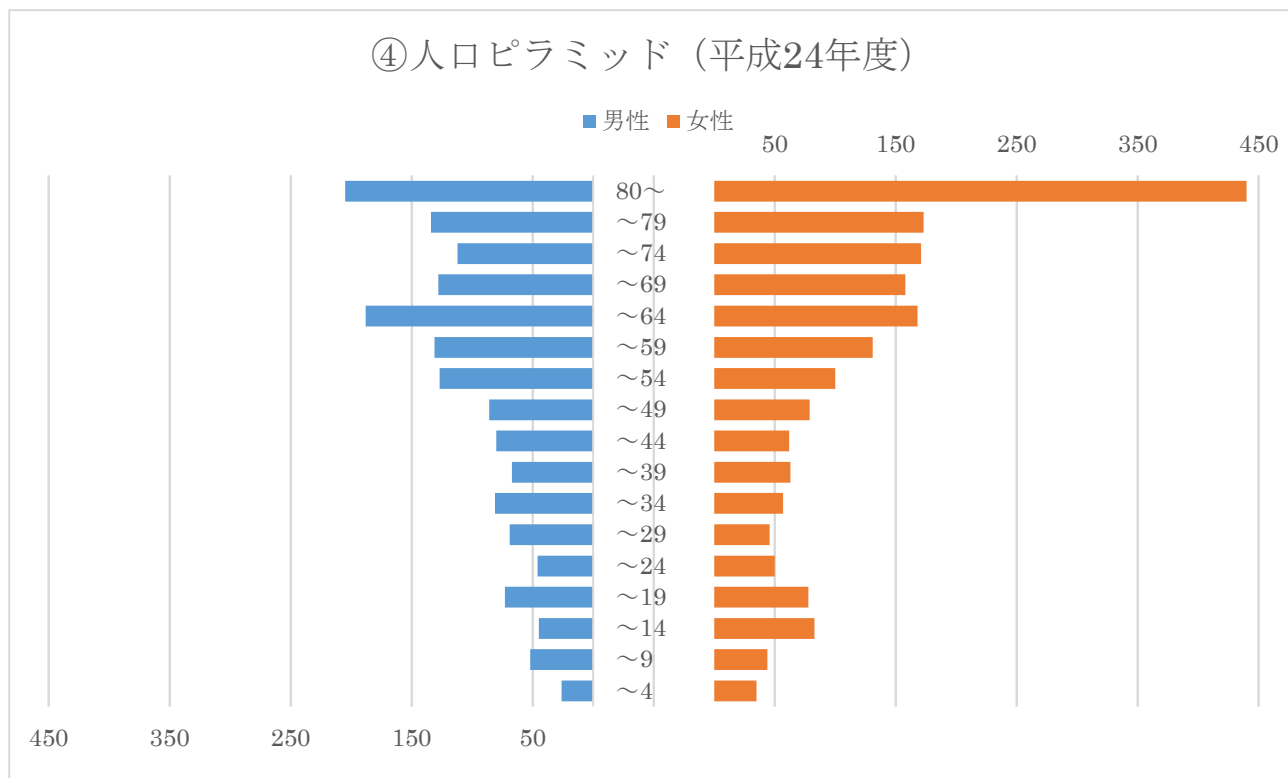
(表-3) は、平成15年度から年度ごとに前年度との人口差を表したものである。

平成24年度以前及び平成29年度から令和元年度は年間100人前後の減少が見られますが、令和2年度以降の減少は少なくなっている。

(4) 年代別人口増減

(表-4) 平成24年度と令和4年度の男女別5歳階級別の人口比較

	男			女			合計		
	H24	R4	増減	H24	R4	増減	H24	R4	増減
0～4	26	25	-1 (△3.8%)	35	28	-7 (△20.0%)	61	53	-8 (△13.1%)
5～9	52	28	-24 (△46.2%)	44	33	-11 (△25.0%)	96	61	-35 (△36.5%)
10～14	45	24	-21 (△46.7%)	83	37	-46 (△55.4%)	128	61	-67 (△52.3%)
15～19	73	69	-6 (△8.2%)	78	58	-20 (△25.6%)	151	127	-24 (△15.9%)
20～24	46	35	-11 (△23.9%)	50	56	6 (12.0%)	96	91	-5 (△5.2%)
25～29	69	31	-38 (△55.1%)	46	46	0 (0%)	115	77	-38 (△33.0%)
30～34	81	37	-44 (△54.3%)	57	35	-22 (△38.6%)	138	72	-66 (△47.8%)
35～39	67	53	-14 (△20.9%)	63	41	-22 (△34.9%)	130	94	-36 (△27.7%)
40～44	80	75	-5 (△6.3%)	62	53	-9 (△14.5%)	142	128	-14 (△9.9%)
45～49	86	61	-25 (△29.1%)	79	58	-21 (△26.6%)	165	119	-46 (△27.9%)
50～54	127	84	-43 (△33.9%)	100	57	-43 (△43.0%)	227	141	-86 (△37.9%)
55～59	131	86	-45 (△34.4%)	131	77	-54 (△41.2%)	262	163	-99 (△37.8%)
60～64	188	123	-65 (△34.6%)	168	103	-65 (△38.7%)	356	226	-130 (△36.5%)
65～69	128	123	-5 (△3.9%)	158	128	-30 (△19.0%)	286	251	-35 (△12.2%)
70～74	112	165	53 (47.3%)	171	176	5 (2.9%)	283	341	58 (20.5%)
75～79	134	102	-32 (△23.9%)	173	141	-32 (△18.5%)	307	243	-64 (△20.8%)
80～	205	191	-14 (△6.8%)	440	400	-40 (△9.1%)	645	591	-54 (△8.4%)
外国人又は年齢不詳者	0	3		16	17		16	20	
合計	1650	1315	-335 (△20.3%)	1954	1646	-308 (△15.8%)	3604	2859	-745 (△20.7%)



《考察》

（表－４）は平成２４年度と令和４年度の男女別５歳階級別の人口比較を表したものである。

総人口は大幅な減少傾向にある。日野町の人口はこの１０年間で男性３３５人（２０．３％）、女性３０８人（１５．８％）、合計７４５人（２０．７％）が減少している。

グラフ②及び③は平成２４年度と令和４年度の５歳階級男女別人口ピラミッドである。およそ１０年間で若年層、生産年齢人口の急激な減少が見受けられる。

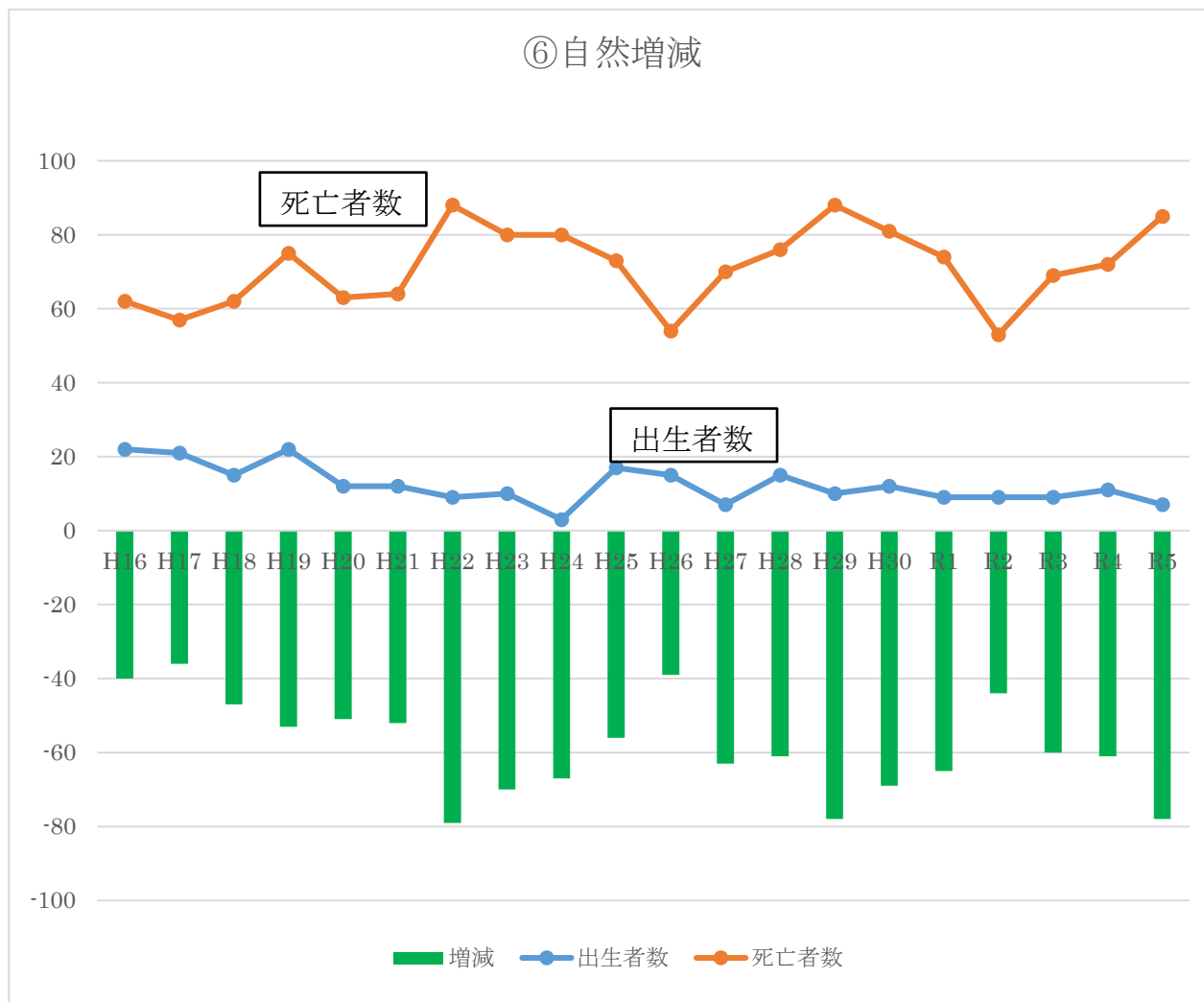
(4) 自然増減

(表－5) 自然増減（出生者数と死亡者数の差により生じる増減）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
出生者数	22	21	15	22	12	12	9	10	13	17
死亡者数	62	57	62	75	63	64	88	80	80	73
増 減	-40	-36	-47	-53	-51	-52	-79	-70	-67	-56

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
出生者数	15	7	15	10	12	9	9	9	11	7
死亡者数	54	70	76	88	81	74	53	69	72	85
増 減	-39	-63	-61	-78	-69	-65	-44	-60	-61	-78

(鳥取県人口移動調査 各年 1 / 1 ～ 1 2 / 3 1)



《考察》

(表－5) は平成16月年から令和5年の間の出生者数と死亡者数の差による自然増減の推移を表したものである。

すべての年度で死亡数が出生数を上回っており、自然減による人口減少が続いている。特に出生数は、令和元年以降の10人を下回ることが多くなっている。

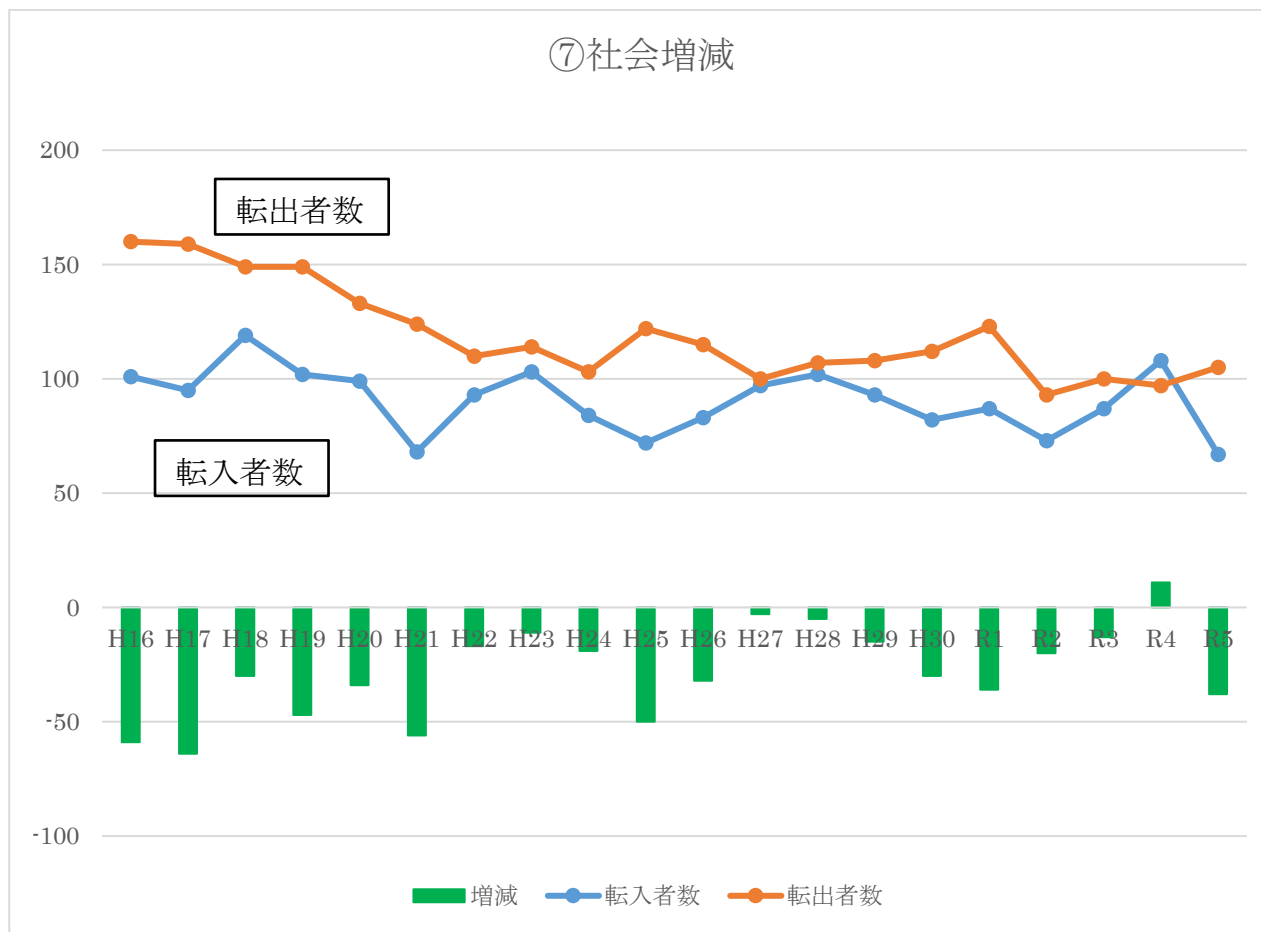
(5) 社会増減

(表-6) 社会増減（転入者数と転出者数の差により生じる増減）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
転入者数	101	95	119	102	99	68	93	103	84	72
転出者数	160	159	149	149	133	124	110	114	103	122
増減	-59	-64	-30	-47	-34	-56	-17	-11	-19	-50

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
転入者数	83	97	102	93	82	87	73	87	108	67
転出者数	115	100	107	108	112	123	93	100	97	105
増減	-32	-3	-5	-15	-30	-36	-20	-13	11	-38

(鳥取県人口移動調査 各年1 / 1 ~ 12 / 31)



《考察》

(表-6) は平成16年から令和5年の間の転入者数と転出者数の差による社会増減の推移を表したものである。

転出者数は減少傾向にあるものの、転入転出増減はマイナスを推移することが多い。

(6) 人口移動の状況（県外及び県内）

(表－7) 県内外転入出状況（R 1～R 5）

県内 社会増減		県 内 計	鳥 取 市	米 子 市	倉 吉 市	境 港 市	岩 美 町	若 桜 町	智 頭 町	八 頭 町	三 朝 町	湯 梨 浜 町
R5.1 ～	転入	28	6	14	1	2	0	0	0	0	0	0
	転出	66	16	35	2	1	0	0	1	0	0	0
R5.12	増減	-38	-10	-21	-1	1	0	0	-1	0	0	0
R4.1 ～	転入	53	9	24	1	4	0	0	1	4	0	1
	転出	49	7	21	0	3	0	1	1	0	0	0
R4.12	増減	4	2	3	1	1	0	-1	0	4	0	1
R3.1 ～	転入	52	11	22	1	1	0	0	1	1	0	0
	転出	63	8	41	2	1	0	0	0	0	1	0
R3.12	増減	-11	3	-19	-1	0	0	0	1	1	-1	0
R2.1 ～	転入	46	5	23	1	2	1	1	1	1	0	0
	転出	54	12	25	2	3	0	1	0	1	0	0
R2.12	増減	-8	-7	-2	-1	-1	1	0	1	0	0	0
H31.1 ～	転入	23	3	12	1	0	0	0	0	0	0	0
	転出	44	2	31	2	1	0	0	0	0	0	0
R1.12	増減	-21	1	-19	-1	-1	0	0	0	0	0	0
R1 ～	転入	202	34	95	5	9	1	1	3	6	0	1
	転出	276	45	153	8	9	0	2	2	1	1	0
R5	増減	-74	-11	-58	-3	0	1	-1	1	5	-1	1

県内 社会増減		琴 浦 町	北 栄 町	日 吉 津 村	大 山 町	南 部 町	伯 耆 町	日 南 町	江 府 町	県 外	社 会 増 減
R5.1 ～	転入	0	0	0	0	0	0	4	1	39	67
	転出	0	0	5	0	1	4	1	0	39	105
R5.12	増減	0	0	-5	0	-1	-4	3	1	0	-38
R4.1 ～	転入	0	0	0	0	2	3	1	3	55	108
	転出	0	0	0	1	3	5	5	2	48	97
R4.12	増減	0	0	0	-1	-1	-2	-4	1	7	11
R3.1 ～	転入	0	0	1	1	0	4	8	1	35	87
	転出	0	0	0	0	0	3	7	0	37	100
R3.12	増減	0	0	1	1	0	1	1	1	-2	-13
R2.1 ～	転入	0	0	1	1	0	3	6	0	27	73
	転出	3	0	1	0	2	1	1	2	39	93
R2.12	増減	-3	0	0	1	-2	2	5	-2	-12	-20
H31.1 ～	転入	0	0	0	1	2	0	0	4	64	87
	転出	0	0	0	1	0	6	0	1	79	123
R1.12	増減	0	0	0	0	2	-6	0	3	-15	-36
R1 ～	転入	0	0	2	3	4	10	19	9	220	422
	転出	3	0	6	2	6	19	14	5	242	518
R5	増減	-3	0	-4	1	-2	-9	5	4	-22	-96

《考察》

(表－7) は平成31年1月から令和5年12月までの間に日野町から県内各市町村へ転出した人数、県内各市町村から日野町へ転入した人数及び県外へ転出、転入した人数を表したものである。

県外からの転入出は、U I ターン等による転入より進学や就職等による転出が上回っている。

県内では米子市への転入出が圧倒的に多く58人の転出超過となっており人口減少の要因の一つになっている。

(7) 人口動向のまとめ

日野町が誕生して以来、人口、世帯数共に減少を続け、平成24年度から令和4年度までの10年間で年間平均75人(約2%)のペースで減少しつづけ、平成24年度と令和4年度の比較では745人の減(約20%)となっている。

減少人数のうち過去10年間で自然減が約77%、社会減が約23%となっている。

自然増減のうち出生者数は減少傾向にあり、平成26年から令和5年までの10年間で104名、年平均10.4名の出生数であり、死亡者数722名(年平均72.2名)を大きく下回っている。

また、社会増減では転入者数が平成26年から令和5年の10年間で879名、転出者数が1,060名で転出超過者数が181名(年平均18.1名)となっている。

過去10年間の人口減少の傾向は、年代別にみると、10～14歳が最も割合が高く、次いで30～34歳、50～54歳と続いている。若年層のみならず生産年齢人口の減少も人口減少の要因になっている。

転出先は県外に次いで、県西部の中核都市である米子市へ流出が多く、進学、就職によるものや結婚を機に町外へ新たな生活の場を求めると推測される。

2 日野町の将来人口の推計と分析

(1) 総人口・年齢区分別人口の推計

ここでは、国勢調査による人口を基礎数値とし、内閣府地方創生推進室が社会人口問題研究所の推計に準拠して提供する推計用ワークシートを使用した今後の日野町人口について表記する。

(表－8) 国勢調査による総人口の推移

	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2022 (R2)
人口	4,516	4,185	3,745	3,278	2,907
男	2,140	1,939	1,716	1,490	1,323
女	2,376	2,246	2,029	1,788	1,584

(表－9) 社会人口問題研究所の推計

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
人口	2,541	2,239	1,957	1,692	1,444	1,227	1,034	879	740	628
男	1,171	1,045	923	801	690	591	501	425	354	298
女	1,370	1,194	1,034	891	754	636	533	454	386	330

(表－10) 社会人口問題研究所推計の年齢（3区分）別人口

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
総数	2,541	2,239	1,957	1,692	1,444	1,227	1,034	879	740	628
0～14	156	129	112	99	84	68	53	42	34	30
15～64	1,023	878	756	637	521	449	379	318	262	206
65～	1,362	1,232	1,089	956	839	710	602	519	444	392
75～(再掲)	856	845	795	698	586	497	438	374	319	270

(表－11) 社会人口問題研究所推計の年齢（5歳階級）別人口

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
総数	2,541	2,239	1,957	1,692	1,444	1,227	1,034	879	740	628
0～4	41	35	31	26	22	16	13	10	9	8
5～9	52	42	38	34	28	24	17	15	11	10
10～14	63	52	43	39	34	28	23	17	14	12
15～19	62	55	47	38	34	30	25	21	15	13
20～24	70	39	35	29	23	21	18	15	13	10
25～29	69	76	41	36	31	25	23	19	16	14
30～34	75	62	70	37	33	29	23	20	18	14
35～39	81	71	60	67	36	33	27	22	19	17
40～44	85	77	67	57	64	35	31	26	21	19

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
45～49	131	89	78	69	59	65	35	32	26	22
50～54	136	135	91	81	71	60	67	37	32	28
55～59	143	136	135	92	81	71	61	67	36	33
60～64	171	138	132	131	89	80	69	59	66	36
65～69	229	166	134	129	128	89	78	69	58	65
70～74	277	221	160	129	125	124	86	76	67	57
75～79	283	251	201	147	118	115	114	79	70	61
80～84	216	254	224	182	134	108	105	104	71	64
85～89	179	172	210	184	152	113	90	88	87	60
90～	178	168	160	185	182	161	129	103	91	85

(2) 合計特殊出生率による人口の推計【日野町推計1】

(表-12) 国、鳥取県、日野町の合計特殊出生率の推移

	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
国	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26
鳥取県	1.62	1.60	1.65	1.60	1.66	1.61	1.63	1.52	1.51	1.60
日野町	1.79	1.95	0.96	1.66	1.54	1.80	1.09	1.09	1.19	1.28

※合計特殊出生率とは・・・

1人の女性が生涯に産むと見込まれる子どもの数。その年の15～49歳の女性が産んだ数をもとに算出する。2.07が人口を維持できる水準とされる。

(表-13) 鳥取県、日野町の合計特殊出生率の仮定値

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
鳥取県	1.75	1.85	1.95	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
日野町	1.48	1.68	1.87	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

※日野町の設定方法

国は2030年に1.80程度、2040年に人口置換水準2.07の達成を見込んでいる。鳥取県も国と同時期の2040年までに人口置換水準2.07まで引き上げるとしている。本町も2022年の1.28を基準とし、2040年に2.07になるよう段階的に上昇した数値を見込む

(表-14) 【日野町推計1】内閣府推計に日野町合計特殊出生率を考慮した推計

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
人口	2,541	2,371	2,159	1,960	1,789	1,628	1,504	1,411	1,349	1,299
男	1,171	1,090	1,000	910	833	762	707	665	638	613

女	1,370	1,281	1,159	1,050	956	866	797	746	711	686
---	-------	-------	-------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(表-15) 【日野町推計 1】の年齢（3 区分）別人口

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
総数	2,541	2,371	2,159	1,960	1,789	1,628	1,504	1,411	1,349	1,299
0～14	156	187	213	224	228	216	202	188	192	198
15～64	1,023	963	870	802	749	733	726	720	720	665
65～	1,362	1,221	1,076	934	812	679	576	503	437	436
75～(再掲)	856	842	787	687	578	483	417	351	305	271

(表-16) 【日野町推計 1】の年齢（5 歳階級）別人口

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
総数	2,541	2,371	2,159	1,960	1,789	1,628	1,504	1,411	1,349	1,299
0～4	41	72	76	76	76	64	62	62	68	68
5～9	52	65	72	76	76	76	64	62	62	68
10～14	63	50	65	72	76	76	76	64	62	62
15～19	62	62	50	65	72	75	76	76	64	62
20～24	70	71	62	50	65	72	75	76	76	64
25～29	69	118	71	62	50	65	72	75	76	76
30～34	75	63	118	71	62	50	65	72	75	76
35～39	81	82	63	117	71	62	50	65	72	74
40～44	85	85	82	63	117	71	62	50	65	72
45～49	131	90	84	81	62	116	70	62	50	64
50～54	136	126	89	83	80	62	116	69	60	49
55～59	143	129	125	88	83	79	61	115	69	60
60～64	171	137	126	122	87	81	79	60	113	68
65～69	229	165	132	122	118	84	79	76	59	109
70～74	277	214	157	125	116	112	80	76	73	56
75～79	283	249	198	145	116	108	104	75	71	68
80～84	216	250	220	175	130	104	97	93	67	64
85～89	179	167	200	176	143	106	84	79	76	56
90～	178	176	169	191	189	165	132	104	91	83

(3) 移住者を考慮し、小学校 1 学年 15 人を保つ人口の推計【日野町推計 2】

(表-17) 【日野町推計 2】→【日野町推計 1】に移住者を考慮した人口推計

(仮定) 毎年 3 組の世帯（夫婦と子供 2 人）が移住

男 30 代前半 3 名、女 20 代後半 3 名

子供 4 歳以下 3 名、5～9 歳 3 名

5 年間で

男性 30 代前半 15 名、女性 20 代後半 15 名

子供 4 歳以下男 7 名女 8 名、5～9 歳男 7 名女 8 名

※1 学年 15 人を保つ目安として、5～9 歳の 5 歳階級で 75 人以上とする

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
人口	2,541	2,436	2,294	2,178	2,104	2,045	2,027	2,050	2,110	2,189
男	1,171	1,122	1,067	1,018	991	971	969	985	1,020	1,058
女	1,370	1,314	1,227	1,160	1,113	1,074	1,058	1,065	1,090	1,131

(表－18) 【日野町推計 2】の年齢（3 区分）別人口

	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
総数	2,541	2,436	2,294	2,178	2,104	2,045	2,027	2,050	2,110	2,189
0～14	156	222	258	293	329	349	359	367	394	424
15～64	1,023	993	960	951	963	1,017	1,092	1,180	1,266	1,289
65～	1,362	1,221	1,076	934	812	679	576	503	450	476
75～(再掲)	856	842	787	687	578	483	417	351	305	271

(表－19) 【日野町推計 2】の年齢（5 歳階級）別人口

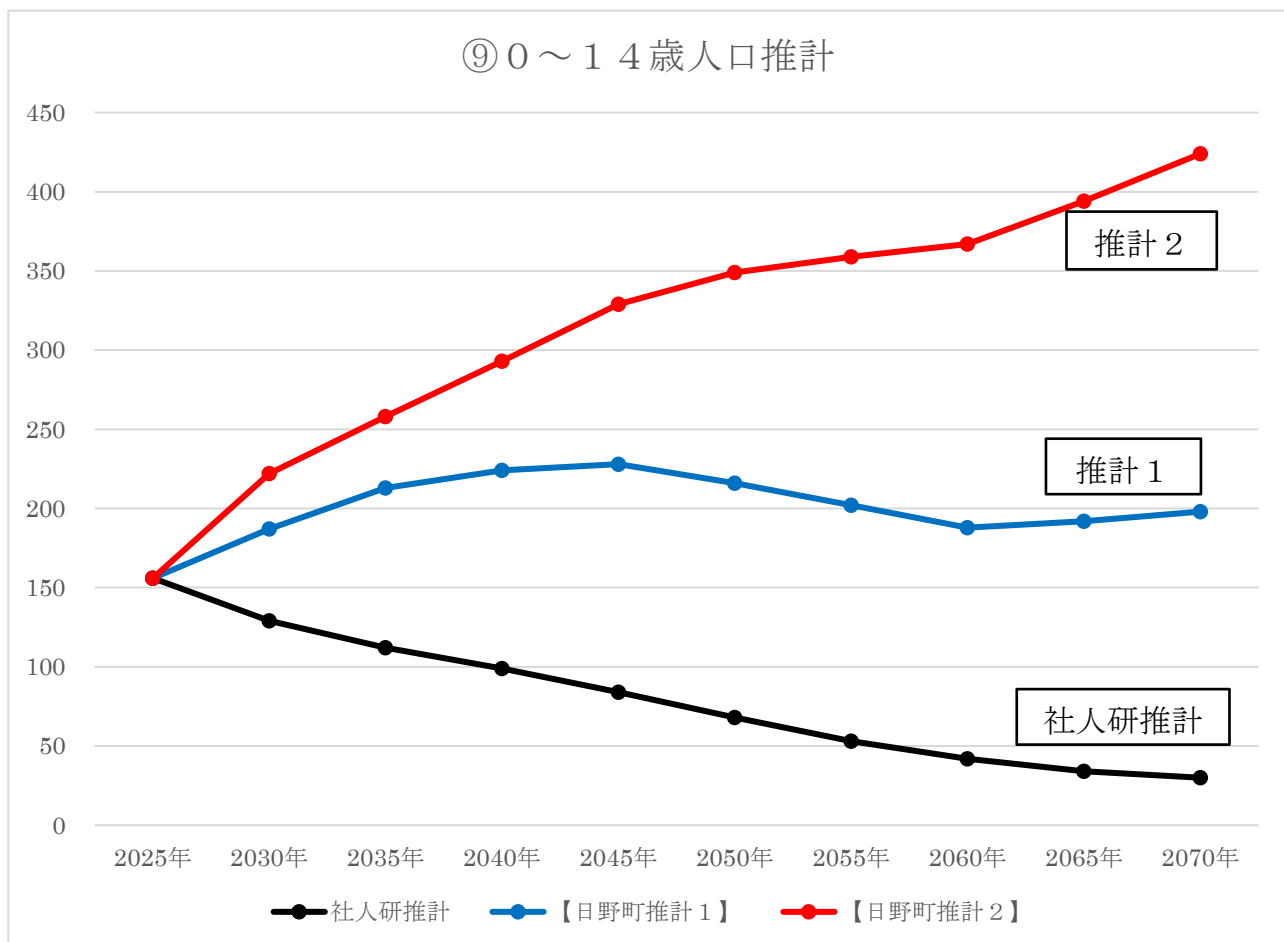
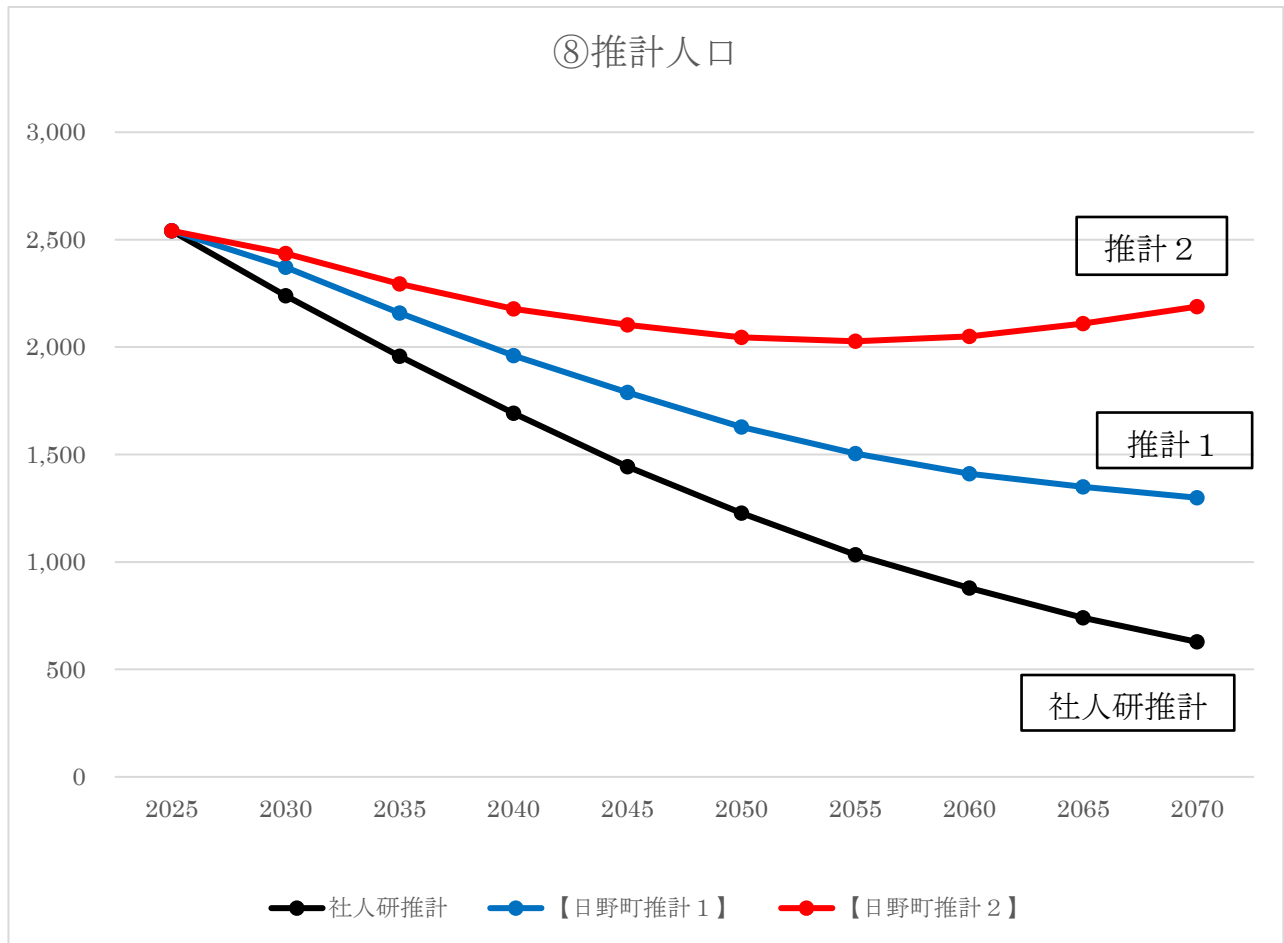
	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
総数	2,541	2,436	2,294	2,178	2,104	2,045	2,027	2,050	2,110	2,189
0～4	41	77	86	100	113	106	110	121	133	140
5～9	52	65	77	86	100	113	106	110	121	133
10～14	63	80	95	107	116	130	143	136	140	151
15～19	62	62	80	95	107	116	130	143	136	140
20～24	70	71	62	80	95	106	116	129	143	136
25～29	69	133	86	77	95	110	121	131	144	157
30～34	75	78	148	101	92	110	125	136	146	159
35～39	81	82	78	147	101	92	110	125	136	145
40～44	85	85	82	77	146	100	92	109	124	136
45～49	131	90	84	81	77	146	99	91	108	123
50～54	136	126	89	83	80	77	145	99	90	108
55～59	143	129	125	88	83	79	75	143	98	89
60～64	171	137	126	122	87	81	79	74	141	96
65～69	229	165	132	122	118	84	79	76	72	137
70～74	277	214	157	125	116	112	80	76	73	68
75～79	283	249	198	145	116	108	104	75	71	68
80～84	216	250	220	175	130	104	97	93	67	64
85～89	179	167	200	176	143	106	84	79	76	56
90～	178	176	169	191	189	165	132	104	91	83

《 考察 》

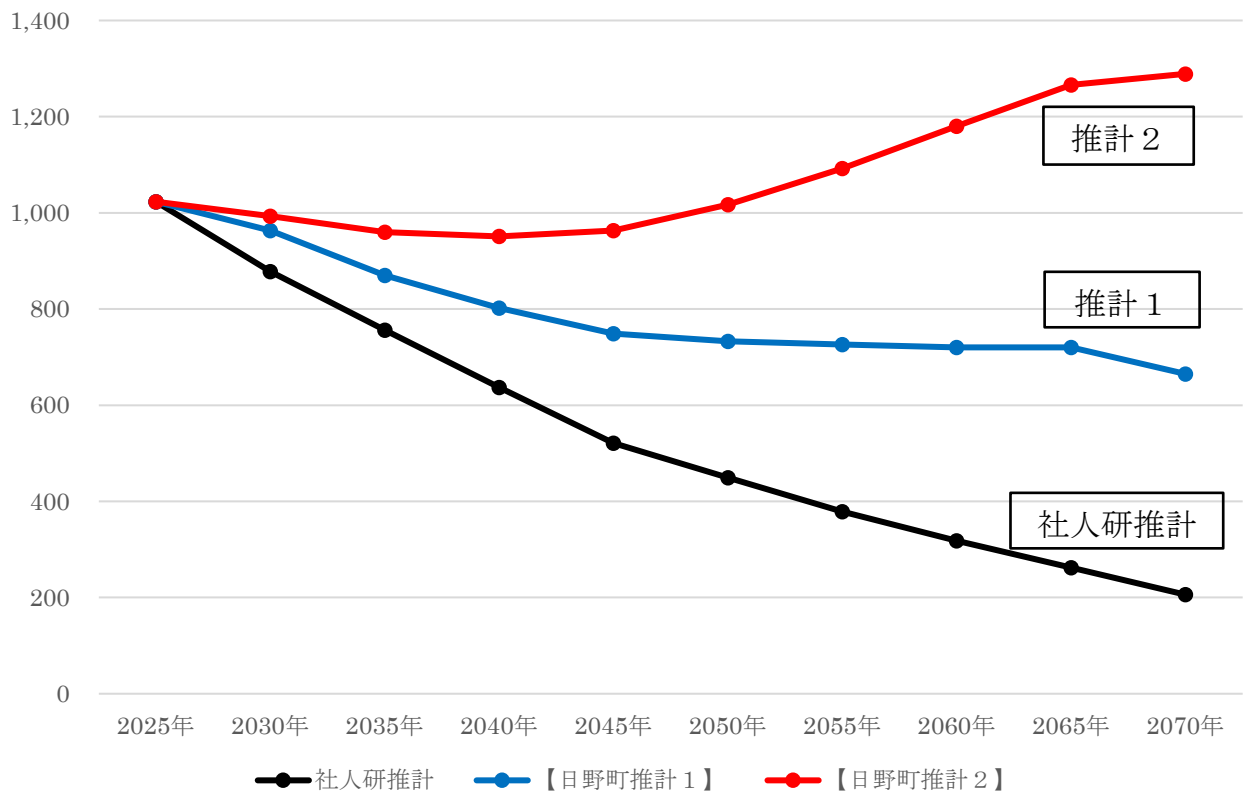
ここでは内閣府から提供されたシミュレーションソフトを使用し内閣府の推計値とその推計値に日野町独自の特殊出生率を加味した【推計 1】、また、特殊出生率に加え、小学校で 1 学年 15 人以上を保つために必要な移住定住者の受け入れを想定した【推計 2】を

行った。

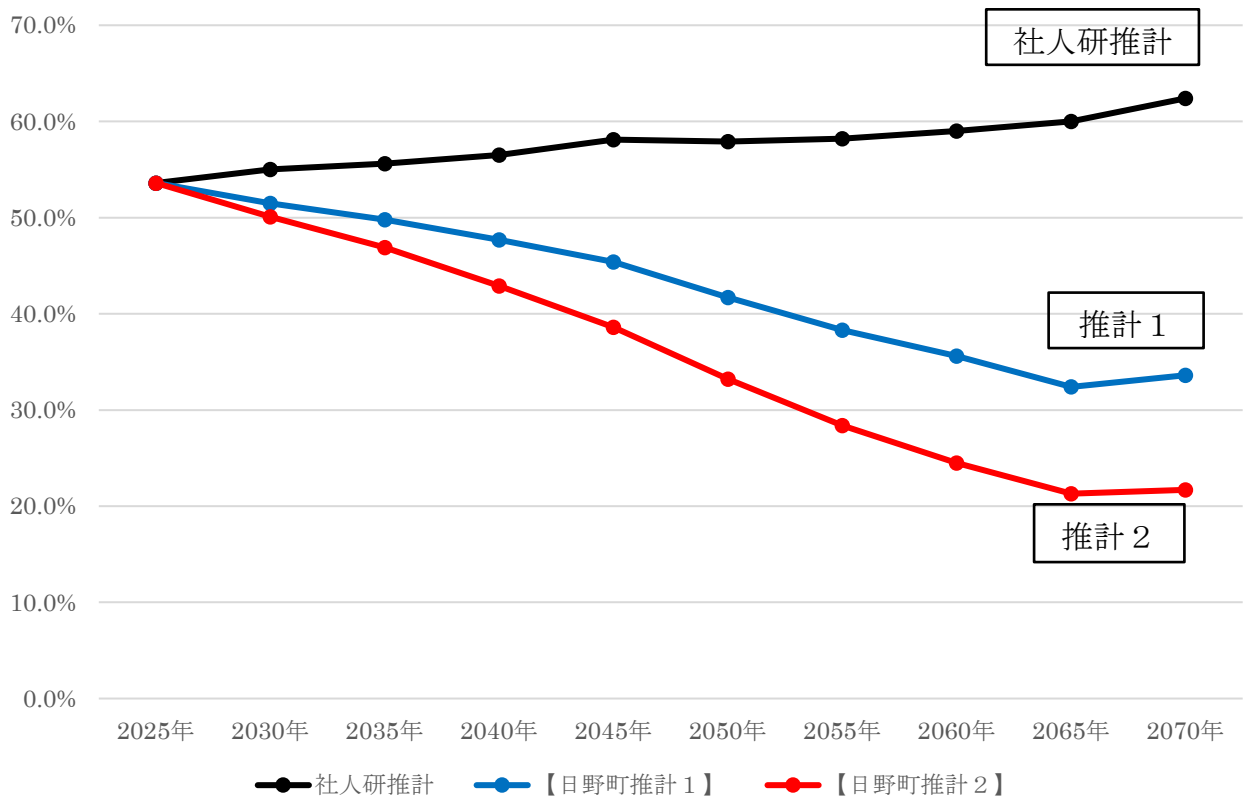
出生率の向上と移住定住者による若年層の確保で減少幅を縮小することができる。



⑩ 15～64歳人口推計



⑪ 高齢化率の推移



4 まとめ

平成30年に国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が発表した人口推計においては、本町の2040年の推計人口が1,481人でしたが、令和5年に発表した人口推計では1,692人と211人の増加が見込まれており、減少スピードを緩やかにしていくことができました。

全国的に人口減少が予想される中で、本町の人口が増加するということは考えられないというのが現状であり、引き続き減少スピードを緩やかにしていくことが、過疎に悩む自治体の進むべき道であると考えています。

人口の現状分析では若年層、特に20代の転出が多いことが明確になりました。生活の不便さや就職などの要因で近隣都市の米子市へ人口が流出している実態を受け止め、対策を行うことが人口減少を抑制する第一歩であると考えられます。

将来人口推計では、少子化対策により段階的に出生率を向上させることを想定し、合計特殊出生率によるシミュレーションを行いました。対象となる女性の人数が増加しなければ、出生率が向上することだけでは大きな変化をもたらすには至りませんでした。

また、「小学校1学年15人を保つ」ことを前提に、合計特殊出生率に加え、移住定住対策の取組により、移住者を受け入れるというシミュレーションを行いました。夫婦と子供2人の世帯を継続的に年間3世帯受け入れることで将来的に1学年平均15名前後を保つことが可能な結果になりました。

日野町としては、シミュレーション結果に近づけるよう、第3次きらり日野町創生戦略を策定し、移住定住及び少子化対策に積極的に取り組むことにより、人口減少に歯止めをかけるべく地方創生の実現に向けた取組を行います。